別海町立西春別小学校　学校だより

か　ら　ま　つ　　No. 16

平成２９年　１月３１日発行　　発行責任者　校長　野口　泰秀

３学期を迎えて

校長　野　口　泰　秀

２５日間の冬休みが終わり、冷え冷えとしていた校舎に子どもたちの笑顔と温かさがもどってきました。児童玄関前にはそれぞれ工夫し、苦労して仕上げた工作や絵などの作品が展示され、子どもたちもお互いに鑑賞し合っています。冬休み中にはスケートリンクの造成、また、先日の暴風雪後のリンク除雪、散水にご協力をいただき、保護者の皆様には大変感謝しております。おかげさまで、スケート授業も順調に実施されております。ご苦労いただいた皆様からは、「地域のために」「子ども達のために」という思いが強く伝わってきました。また、大きな事故もなく３学期を迎えることができたことは、大変うれしいことです。保護者、地域の皆様方のご理解とお力添えのおかげと深く感謝申し上げます。

始業式では、３学期は短いのですが、進級と進学を意識すること、そして、「感謝」と「思いやり」の気持ちをもって生活することをお話しいたしました。「感謝」とは、ありがたさを感じて謝意を表することです。また、『思いやり』とは、純粋に親切な心からでる行動の一つで、見返りも期待せずに自分がもっているものを分かち合う、こうした礼節の精神から生まれるものです。子どもたち一人一人が、１年間の成長を振り返り、自分一人の力ではなく、多くの人に支えられてきたことを実感して欲しいと思っています。

３学期は、スケート記録会（１月３０日）、スノーフェスタ（２月１４日）など、冬の行事が予定されています。日常の授業や行事等を通して、冬の厳しい寒さにも負けない耐性や１年間の自分の成長を感じ、支えてくれた方々に感謝の気持ちを育みたいと思います。

今後も保護者の皆様、地域の皆様の一層のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成28年度　全国体力･運動能力･運動習慣等調査

全国的な子どもの体力の状況を把握・分析し、学校における体育・健康に関する指導に役立てることを目的とした「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」を７月に実施し、過日その結果が戻ってきましたのでお知らせいたします。対象学年は５学年です。実技に関する調査は、「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」です。また、運動習慣等の質問紙調査も行われています。

(1) 本校の状況

男女ともに、「握力」「上体起こし」「ソフトボール投げ」については全国平均を超えており、筋力や筋持久力、巧緻性の要素をもつ運動はよくできています。しかし、「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」については全国平均まで届かず、敏捷性や全身持久力、疾走能力の要素をもつ運動は十分ではないことが明らかになりました。また、質問紙調査では、運動やスポーツをすることが好きと答えた子が80%を越えましたが、自分の体力に自信のある子が30%程度でした。また、１週間の運動時間が短い状況にあり、特に男子は休日の運動時間が極端に短くなっています。このことから、運動やスポーツをすることが好きで、その大切さも理解しているのですが、少年団などに入っていない子は、家庭に帰ってから運動をする機会が少ないことがわかりました。

(2) 家庭で運動する習慣を身に付ける

本校は、スクールバスで通学している子が多く、また、家庭においても自家用車で移動することが多いため歩く機会が乏しいように思います。そのため、全身持久力や疾走能力など脚力にやや弱さを感じます。人間が、細く、長く健康に生活するためには、脚力がしっかりしていることが一つの要因だと考えます。

そのため、家庭での運動として、歩くことからはじめてみてはいかがでしょうか。そうは言っても、目的なしに歩くことは難しいかもしれません。たとえば、１日に歩く歩数を決め、歩数計などで目標に到達したかどうかを確かめることから行ってみるとよいと思います。現在は、スマホなどにも歩数計機能がついていますので、親子でチャレンジしてみると良いと思います。